

卓球競技新人大会

12月12日(土)五島市民体育館サブアリーナにおいて五島市中学校卓球競技新人大会が行われ、1・2年生全員が出場しました。1年生の2人は臨時休校や補習のために夏休みから練習を始めましたが、試合ができるまでに成長し、団体戦ではダブルスにも挑戦しました。2年生の4人は中総体以降、それぞれに課題意識を持って練習に取り組み、技能が上達しています。男女ともに緊迫したゲームが続きました。

以下に大会の様子と試合後の感想(一部抜粋)を紹介します。



一ノ瀬 彩…最後まであきらめずに試合ができたこと、あいさつがしっかりできたことが良かったです。気持ちの切り替えや、足を動かすことが課題です。また、バックハンドやスマッシュを思い切って打つことも練習したいと思います。



白水 南帆…最初の試合は1セット目を取ることができなくて、焦ったまま2試合目まで引きずってしまいました。3試合目からは自分らしくプレーして勝つことができました。サーブ、ドライブ、スマッシュをもっと練習していきたいです。



大櫛 優樹…今回の試合ではいつも勝っている相手に負けてしまい、悔しかったです。中総体で勝つために、サーブを相手が苦手なところに打てるようにたくさん練習します。また、姿勢を意識して、脚が動くようにフットワークの練習をたくさんします。



狩野 潤奈…初めはすごく緊張しました。強いて聞いていたし、どうなるか不安でした。しかし、スマッシュが入ったり、気持ちの切り替えもできたので自分が成長したことを実感できました。



中野 紗菜…自分のミスが多かった。打つ高さかどうかの見極めが大事。特に突っつきは猛特訓が必要。深呼吸をして気持ちを切り替える工夫もしたい。



蛭間 壽之亮…勝ててうれしいですが、苦手なコースが分かったことがよかったです。早速、次回の練習から修正できるようにしたいです。サーブにも磨きをかけて中総体で練習したいです。

